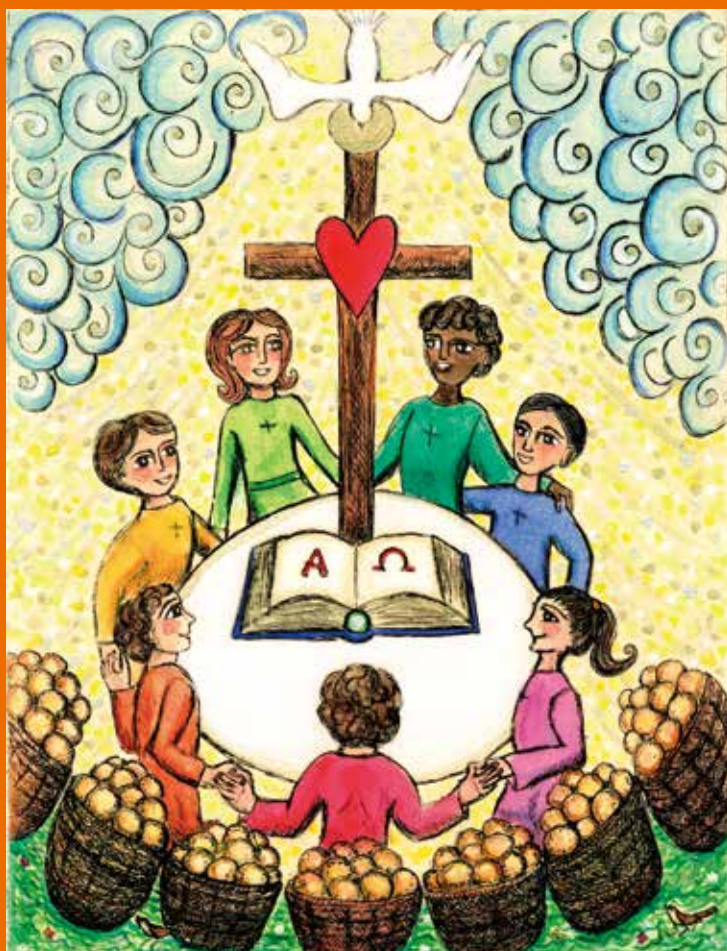


2014年 キリスト教一致祈禱週間

1月18日～25日



キリストは幾つにも分けられてしまったのですか

—コリント1:1-17

日本キリスト教協議会
カトリック中央協議会

この小冊子は、世界教会協議会(WCC)と教皇庁キリスト教一致推進評議会が共同発行した資料をもとに、日本キリスト教協議会信仰と職制委員会とカトリック中央協議会エキュメニズム部門が共同作業によってまとめたものです。年間を通じて、合同の集会などご利用ください。

聖書本文の引用は、『聖書 新共同訳』(日本聖書協会、2000年)を使用しています。

目 次

キリスト教一致祈祷週間を準備する方々へ	2
聖書テキスト	4
2014年のテーマの解説	6
2014年キリスト教一致祈祷週間の準備	12
エキュメニカル礼拝	14
初めに	14
礼拝式文	16
八日間の聖書の黙想と祈り	26
カナダの教会の祈り	37
カナダにおけるエキュメニズムの状況	37
キリスト教一致祈祷週間に関する歴史上の重要な年	45
キリスト教一致祈祷週間のテーマ一覧（1968-2014年）	46

表紙：原田陽子

キリスト教一致祈禱週間を準備する方々へ

一致を求めて——年間を通じて

キリスト教一致祈禱週間は、北半球では、伝統的に1月18日から25日に行われます。この日程は、1908年にポール・ワトソン（1863–1940年）によって提案されたもので、当時祝われていた聖ペトロの祝日（ローマの聖ペトロの使徒座の祝日。現在では2月22日に祝われる）と聖パウロの祝日（聖パウロの回心）を結ぶ期間です。すなわち、日付そのものに象徴的な意味があります。しかし、南半球では、1月は休暇の季節なので、他の日程、たとえばペンテコステ（聖霊降臨の祝日）前後に変更する地方もあります。これは1926年に信仰と職制運動が提案した日程ですが、これも教会の一致のためには象徴的で意義深い日です。

日程についてはこのように弾力的にできることをご配慮ください。この資料を年間を通じて有効な招きとして受け止めてくださり、諸教会が既に与えられている交わりを表現し、さらにキリストの御心である完全な一致を求めて共に祈る機会として用いられることを願っています。

各地の状況に合わせてテキストを用いる

この資料は以下のようなことを考慮して作成されています。

すなわち、日時の限定はなく、いつでも各地域で実践できるときに用いることができます。その場合、各地の礼拝形式や社会的・文化的状況に応じて実施されることが適切です。そのためには、諸教会が協力して実行するようなエキュメニカルな企画が必要です。

ある地域では、エキュメニカルな機関が既に設けられているでしょう。そうでない地域では、この企画が契機となって、そのような機関・組織ができればよいと願っています。

キリスト教一致祈祷週間資料の使い方

- * 諸教会やキリスト教共同体の諸団体が、協力して一つの合同礼拝を行う場合に、この「エキュメニカル礼拝式文」をそのまま使うことができます。
- * 諸教会・諸団体は、それぞれ各自の礼拝の中に、この資料を導入して用いることができます。たとえば、「エキュメニカル礼拝式文」や「八日間の聖書の黙想と祈り」、「カナダの教会の祈り」の中から資料を得ることができます。
- * 一週間を通して祈り、週の各曜日ごとに礼拝を行う形式を守る共同体は、資料として「八日間の聖書の黙想と祈り」を使うことができます。
- * キリスト教一致祈祷週間のテーマについての聖書研究を行いたい場合には、「八日間の聖書の黙想と祈り」に提示されている聖句や黙想を基礎資料に使うことができます。また、ディスカッションは日毎の執り成しの祈りで締めくくることができます。
- * 一人で祈りたい人々も、自分の祈りの思いに焦点を合わせるのに役立つような資料を見いだすことができるはずです。それをを用いることによって、自分たちが、キリストの教会の目に見えるいっそう大きな一致のために祈っている世界中の人々との交わりの中にいることを忘れずにいることができるでしょう。

2014年キリスト教一致祈禱週間

聖書テキスト

神の御心によって召されてキリスト・イエスの使徒となったパウロと、兄弟ソステネから、コリントにある神の教会へ、すなわち、至るところでわたしたちの主イエス・キリストの名を呼び求めているすべての人と共に、キリスト・イエスによって聖なる者とされた人々、召されて聖なる者とされた人々へ。イエス・キリストは、この人たちとわたしたちの主であります。わたしたちの父である神と主イエス・キリストからの恵みと平和が、あなたがたにあるように。

わたしは、あなたがたがキリスト・イエスによって神の恵みを受けたことについて、いつもわたしの神に感謝しています。あなたがたはキリストに結ばれ、あらゆる言葉、あらゆる知識において、すべての点で豊かにされています。こうして、キリストについての証しがあなたがたの間で確かなものとなったので、その結果、あなたがたは賜物に何一つ欠けるところがなく、わたしたちの主イエス・キリストの現れを待ち望んでいます。主も最後まであなたがたをしっかり支えて、わたしたちの主イエス・キリストの日に、非のうちどころのない者にしてください。神は真実な方です。この神によって、あなたがたは神の子、わたしたちの主イエス・キリストとの交わりに招き入れられたのです。

さて、兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなたがたに勧告します。皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心をついにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。わたしの兄弟たち、実はあなたがたの間に争いがあると、クロエの家の人たちから知らされました。あなたがたはめいめい、「わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケファに」「わたしはキリストに」などと言いつつ合っているとのこと。キリストは幾つにも分けられてしまったのですか。パウロがあなたがたのために十字架につけられたのですか。あなたがたはパウロの名によって洗礼を受けたのですか。クリスポとガイオ以外に、あなたがたのだれにも洗礼を授けなかったことを、わたしは

神に感謝しています。だから、わたしの名によって洗礼を受けたなどと、だれも言えないはずです。もともと、ステファナの家の人たちにも洗礼を授けましたが、それ以外はだれにも授けた覚えはありません。なぜなら、キリストがわたしを遣わされたのは、洗礼を授けるためではなく、福音を告げ知らせるためであり、しかも、キリストの十字架がむなしいものになってしまわぬように、言葉の知恵によらないで告げ知らせるためだからです。

(コリントの信徒への手紙一 1章1-17節)

2014年のテーマの解説

「キリストは幾つにも分けられてしまったのですか」

(一コリント1:1-17)

1 カナダの人々は多様性という特徴を備えた国に住んでいます。その多様性は言語、文化、また気候においてさえ存在します。他方、わたしたちもキリスト教信仰の表現において多様性を体現しています。このように多様性をもって生きながら、弟子たちの一致に対するキリストの望みに忠実であることは、コリントの信徒への手紙一におけるパウロの刺激的な問いの考察へとわたしたちを導きます。「キリストは幾つにも分けられてしまったのですか」。信仰においてわたしたちは「否」と答えます。しかし、わたしたちの教会共同体はつまづきとなる分裂を体現し続けているのです。コリントの信徒への手紙一は、今のわたしたちの分裂のただ中においてさえも他者の賜物を評価し、受け取る道をも指し示しています。これは一致のために働くわたしたちへの励ましです。

2 カナダは自然の美しさで知られます。山々、森林、湖に河川、広大な麦畑、三つの海による海岸線などです。国土は大西洋から太平洋へ、またアメリカ合衆国との国境から北極へと広がっています。農業と天然資源に恵まれた土地です。カナダはまた、多様な人々の住む土地です。ファースト・ネーション、イヌイト、メティス⁽¹⁾、そして世界中から、ここに居住地を求めてやって来た多くの人々がいます。公用語はフランス語と英語の二つですが、多くのカナダ人は自分たちの先祖の故国から伝わる文化や言語の遺産を大事にしています。言語的・文化的・地域的区別はしばしば社会的・政治的分裂をもたらします。にもかかわらず、わたしたちは、国を形成するこれらのさまざまなアイデンティティがカナダの健全な多様性に貢献していることを学びつつあります。この多元的な文化状況のただ中であって多くのキリスト者たちは特徴ある礼拝

(1) ファースト・ネーションというのは、ヨーロッパ人の渡来以前に先住民が存在したことを認めるためにカナダで使われる言葉です。北極圏にいる先住民は自らのことをイヌイトと呼びます。メティスという言葉は、先住民とフランス人との両方を先祖とする人々を指す言葉です。

と伝道・牧会の方法を生み出してきました。パウロの手紙は多様性を帯びたわたしたちに語りかけ、次のことを認識するようにと招きます。すなわち、特定の場所にある教会であるわたしたちは、孤立すべきでも、互いに対抗し合うべきでもありません。むしろ、主の名を呼ぶすべての人々とのつながりを認識すべきなのです。

3 今年わたしたちが考察するために選ばれた聖書箇所において、パウロはコリントの信徒たちにあてた手紙を力強い言葉で書き始めます。歌劇の序曲や交響曲の冒頭楽章と同じように、この箇所はこれから語られる事柄に対してわたしたちの心を整えます。この箇所には三つの部分があります。三つとも、今日、諸教会と社会の中で共に生き、働くキリスト者としてのわたしたちが行う考察にとって、確固とした、同時に挑戦的な基礎となるものです。

4 第一の部分(1:1-3)で、パウロは、同僚のキリスト者ソステネと共に——この二人の小さいけれども真正の共同体として——もう一つの、大きく活発な共同体であるコリントのキリスト者に語りかけます。彼はコリントの信徒たちを「神の教会」と呼びます。つまり彼らは、単なる地域支部ではなく、世にあって自らの役割を果たす、教会の十全な表現です。パウロがコリントの信徒たちに思い起こさせるのは、自分たちが「召された」民だということです。彼らは「召されて聖なる者とされた」のであり、孤立しているのでも、自力で歩んでいるのでもなく、「至るところでわたしたちの主イエス・キリストの名を呼び求めているすべての人と共に」います。「イエス・キリストは、この人たちとわたしたちの主であります」。「この人たちとわたしたちの主であります」という言葉は、「この人たちの場所とわたしたちの場所の主であります」とも訳せます。ですから、コリントの信徒は真正な神の教会ですが、告白することにおいても場所においても、主を呼ぶ他の人々と結ばれています。次いでパウロは、彼のすべての手紙と同様に、神の恵みと平和を願う、いつもの力強い挨拶を行います。パウロの用語においては、「恵み」は、わたしたちに対するキリストにおける神の慈しみと賜物とを示します。それは、わたしたちが神に感謝し、他の

人々に恵み深くなるよう促すためです。完全で、互いに与え合う、わたしたちに対する神の「平和」は、神における交わり（コイノニア）にほかなりません。

5 自分の地域教会、大きな共同体、自分の国の中で、皆さんはどこに神の恵みと平和を見いだしますか。どうすれば、自分の身近な共同体への心配を乗り越えて、全キリスト者の共同体および世界に気を配れるようになるでしょうか。

6 パウロはコリントの共同体の課題を自覚させる前に、次の部分（1:4-9）で、「キリスト・イエスによって」コリントの信徒たちが受けた「神の恵み」に感謝し始めます。この感謝は形だけのものではなく、むしろ、コリントの共同体に与えられた神の賜物に対する真の喜びを表します。パウロはコリントの信徒たちにはっきりと言います。「あなたがたはキリストに結ばれ……すべての点で豊かにされています。……その結果、あなたがたは賜物に何一つ欠けるところが」ありません。パウロは彼らに約束します。あなたがたは最後まで支えられます。「神は真実な方です」。神は御子との交わり（コイノニア）へとわたしたちを招き入れてくださいます。この交わりは、わたしたちの教会や人々に対する社会的・霊的な次元を含みます。

7 カナダのキリスト者として、わたしたちは、他のキリスト教共同体にある神の賜物を常に進んで喜ぼうとしたわけではなかったことを心に留めます。わたしたちは、エキュメニカルな精神でパウロの手紙を読むことにより、神が他のキリスト者や他の人々を祝福したことを心から喜ぶように招かれていることをますます自覚するようになります。カナダに最初にキリスト教信仰をもたらした人々は、先住民の持つ賜物と知恵に対してしばしば否定的でした。彼らは、先住民を通して神が与えた祝福に気づくことができなかつたのです。

わたしたちは、自国における民族と信仰表現の多様性に深く感謝しなければなりません。歴史を通じて互いの尊敬や支え合いを欠いたこともしばしばでしたが、わたしたちの国が協働と自国と世界の平和への道を追求することの上に

建てられたのも確かです。わたしたちは、神から与えられた自然の恵みを享受することをしばしば当たり前のように感じます。経済的繁栄と自然の恵みの管理の間でバランスを取ることに腐心しています。わたしたちは、カナダ人として持っていると皆が考える価値観を実現することにも努力しています。キリスト者としても教会としても、わたしたちは、他の人における神の賜物に気づき感謝すると共に、感謝の心と国および世界全体への配慮を育まなければならないと感じています。

8 皆さんは、自分の教会、共同体、国について、どのようなことに感謝していますか。自分の共同体の他のキリスト者や他の人々の中に、霊的・物質的な神の賜物をどれほど見いだしたことがありますか。

9 第3の部分（1：10-17）で、パウロは、コリントの信徒がキリストの福音をねじ曲げ、共同体の一致を壊したことについて厳しい言葉を投げかけます。彼らは、「わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケファに」と言い合っていたからです。パウロは、自分はキリストにつくと言う人もほめません。なぜなら、彼らはキリスト教共同体の中で自らを他の人々と区別するためにキリストの名を用いたからです。わたしたちは、周りに壁を築くためにキリストの名を呼んではなりません。キリストの名が作り出すのは協力と一致であって、分裂ではないからです。「キリストは幾つにも分けられてしまったのですか」。パウロは、強力なリーダーシップで共同体を作ることに反対しません。とはいえ、共同体はキリストのうちに根本的なアイデンティティを見いださなければなりません。「パウロがあなたがたのために十字架につけられたのですか。あなたがたはパウロの名によって洗礼を受けたのですか」。クロエの家の人々は、彼らの中に見いだされた状態を知らせたのです。

10 パウロは、このような分裂状態に対して、一致して「心をつにし思いを一つにして、固く結び合いなさい」と訴えかけます。彼は、手紙の読者とコリントの信徒に、「勝手なことを言わない」ように勧めます。パウロは、人々が

同じやり方で礼拝し、物事を行うべきだと考えているのでしょうか。そうは思いません。この箇所は、パウロやアポロやケファがリーダーシップをとらないことを求めているわけではありません。キリストに根ざして、教会の共通の使命に対して外部の人々からもたらされる神の賜物に感謝することが、わたしたちには求められています。他の人々における神の賜物をたたえることは、信仰と使命においてわたしたちを互いに近づけ、礼拝と生活における真の多様性に関して、キリストが祈り求めた一致へと導きます。

11 わたしたちはキリストの弟子となることによって、根本的にキリストと結び付けられます。パウロは、このキリストの弟子となることの二つの中心的な要素を強調します。洗礼とキリストの十字架です。わたしたちはパウロの名によって洗礼を受けたのでもなければ、パウロがわたしたちのために十字架につけられたのでもありません。わたしたちの一致はキリストのうちにあり、わたしたちの命と救いはキリストに由来します。同時に、わたしたちは皆、それぞれのグループに属しています。地域教会がわたしたちの信仰を育み、イエスの弟子として歩むための助けとなります。パウロにとってもわたしたちにとっても、結論部で言われることは、部分教会への帰属意識に限りません。むしろ、わたしたちの目的は福音を⁰宣べ伝えることです。わたしたちはこの福音に信仰と喜びをもってこたえてきたからです。今やわたしたちは、このメッセージを世界と分かち合わなければなりません。パウロの結びの言葉は、わたしたちにこう自問するように問いかけます。わたしたちはキリストの福音を互いのためのものとしているだろうか。それとも、キリストの名によってさえも分裂をもたらしてはいないだろうか。こうして、パウロが言うとおりに、キリストの十字架がむなしなものになってはいないだろうかと。

12 わたしたちカナダのキリスト者には、協働し、助け合ってきた歴史があります。わたしたちの歴史の中には、共通の取り組み、職制の共有、複数の教会の合同も見られます。わたしたちは、教会の有機的な一致が不可能なときに、しばしば共通の合意に達し、キリストにおける一致の深まりを証しする、職制

の共有を行いました。わたしたちの教会は、貧困や社会正義の問題に共に取り組んできました。また多くの教会は共に、カナダの先住民に対する非キリスト的な態度に責任を負い始めています。キリストがわたしたちのために望んだ一致へと向かう、励ましとなる動きがあるとはいえ、福音の告知をゆがめる分裂と不一致は依然として残っています。

13 わたしたちもクロエの家の人たちの言葉を耳にします。クロエの指導の下で、彼らはコリント教会内に争いと分裂を見だし、それを告発しました。わたしたちは、全教会の男女の証人と、彼らが行う和解と一致のための奉仕を引き続き必要としています。そのような証人に語ってもらうことにより、わたしたちは「キリストのうちに心をつにし思いをつにする」共同体というパウロの理想の実現に近づきます。

14 皆さんと皆さんの教会は、他の教会と共に、キリストのうちにある一つの思い、一つの心をどのように見いだしていくでしょうか。皆さんの共同体や皆さんの国の教会では、礼拝の方法や形式の違いを評価し、体験することによって、キリスト者の目に見える一致に向けた取り組みをどのように実り豊かなものとするのでしょうか。世界を他の人々にとってより良い場所にするために、皆さんは他のキリスト者といかなる共通の使命を共有できるでしょうか。

15 結論として言えるのはこれです。わたしたちは自分の国と国民の中に表された神の祝福と賜物に目を向けます。すると、互いと、自分たちが生を受けたこの土地とを、尊厳と敬意をもって扱わなければならないことに気づき始めます。わたしたちはこの気づきによって、罪を告白し、悔い改め、地上における新しい持続可能な生き方を追求するように促されます。こうしてわたしたちは自覚します。神がわたしたち皆を祝福してくださったことを。そして、カナダ人の同胞の声を聞くことも配慮することもせずに、いかなる集団も国の資源の使い方を決めてはならないということ。

2014年キリスト教一致祈禱週間の準備

今年のキリスト教一致祈禱週間のテーマに関する最初の作業は、まず、カナダ・エキュメニズム・センターと、プレーリー・エキュメニズム・センターが招集したカナダ各地の代表者から成るグループによって行われました。

特に以下の方々に感謝を表したいと思います。

ベルニス・バラノウスキ（ローマ・カトリック教会）、モンリオール、カナダ・エキュメニズム・センター

サンドラ・ベアドサール（カナダ合同教会）、サスカトゥーン、セント・アンドリュース大学教会史ならびにエキュメニズム教授

ミシェル・ベルジール（バプテテスト教会）、トロント、グリーンボローコミュニティ教会

ドナルド・ボーレン司教、ローマ・カトリック教会サスカトゥーン教区司教
アマンダ・カーリー、サスカトゥーン、カナダ長老教会北サスカトゥーン長老区牧師兼教会書記

ニコラス・ジェソン、ローマ・カトリック教会サスカトゥーン教区エキュメニズム担当者

ノーマン・レヴスク（ローマ・カトリック教会）、カナダ・エキュメニズム・センター事務局長、グリーン・チャーチ・プログラム理事

アンソニー・マンソワ執事（アメリカ正教会）、モンリオール、カナダ・エキュメニズム・センター事務局長（2006-2012年）

デイヴィッド・マックラーラン（カナダ合同教会）、ハリファックス、アトランティック神学校新約学教授

ジョン・ウィルソン（カナダ合同教会）、プリンスエドワード島サマーサイド

また、以下の方々からは、草案と示唆に富むご提案をいただきました。

カレン・ハミルトン（カナダ合同教会）、カナダ教会協議会総幹事
ジル・ルーティエ（ローマ・カトリック教会）、ケベック、ラヴァル大学神学および宗教学教授

また、準備グループを立ち上げた、サスカトゥーン教区のドナルド・ボーレン司教ならびに準備グループの委員、国際委員会の作業を支えてくださったすべての人々に謝意を表します。

ここに提示されたテキストは、世界教会協議会信仰職制委員会と教皇庁キリスト教一致推進評議会が任命した国際委員会の会議で最終的にまとめられました。国際委員会は、2012年9月に、モンリオール島の北東に位置するピエルフォンにあるイエズス会黙想の家、ヴィラ・サン・マルタンにおいて、カナダの代表者たちとの会合を持ちました。カナダ・エキュメニズム・センターとプレーリー・エキュメニズム・センターが快く会議を開催してくださったこと、モンリオールのセント・ジョセフ礼拝堂訪問をご準備くださったことに特に感謝します。また、わたしたちのカナダ滞在中に、エキュメニカル・シンポジウムを開いてくださった、モンリオール、マックギル大学の教授陣にも感謝の意を表したいと思います。

エキュメニカル礼拝

「キリストは幾つにも分けられてしまったのですか」

(一コリント 1 : 1-17)

初めに

キリスト教一致祈祷週間の礼拝に集ったわたしたちは、神の招きにこたえて新たにされ、歌と言葉と行動を通して、キリストのうちにある互いの関係を築き上げます。この礼拝は、コリントの信徒への手紙一1章1-17節と関係づけられた「八日間の聖書の黙想と祈り」を深め、心に留めることへの招きとしても役立ちます。「キリストは幾つにも分けられてしまったのですか」というパウロの刺激的な問いかけは、個人またキリスト教共同体として祈り、自己吟味を行うことへの喜びに満ちた挑戦ともなります。聖書箇所や礼拝の骨組みが、皆さんの状況の中でパウロの問いかけをあらためて考察するための機会となるのです。

以下に、今年の礼拝の特徴を示します。礼拝を行うに際してはさらなる準備が必要かもしれません。

開会は、カナダの先住民の伝統に従い、顔をさまざまな方向に向けて祈ることへの招きを含みます。まず、全員のいる場所の方位を意識する必要があります。それは、礼拝の進行に従って全員が時計回りに向きを変えるためです。全員は、「上を向いて」「下を向いて」という注記に従う際、礼拝の場の前方に向き直らなければなりません。自分の住む場所の状況を踏まえて、祈りを変更すべき場合もあるでしょう。

霊的賜物のエキュメニカルな交換は、コリントの信徒がばらばらになってしまうのではないかとパウロの心配と、「キリストは幾つにも分けられてしまったのですか」という問いかけに対する一つの応答です。個々のキリスト教共同体に閉じこもりながら、自分たちが一致しているなどと言うことはできません。互いの賜物を進んで受け入れなければなりません。こうして、自分がどのような賜物を与えられるかということから一歩踏み出せます。わたしたちは、他者

のことを考え、他者のうちに、キリストの体全体を豊かにするカリスマ（賜物）を見いだすことが求められます。「交換」は以下のように行います。さらなる準備が必要かもしれません。ここでは次の提案を行います。

1 地域の諸教会の代表者を招き、どのような「賜物」を皆が互いに受け取れるかを共に考察します。そこから、他の共同体がこれを「受け取る」と言えるような、各共同体の一つの賜物を共同で挙げます。

2 できれば、「霊的賜物のエキュメニカルな交換」の中で、それぞれの賜物を象徴的に表すものを奉納します。

3 賜物を奉納する際、次のように唱えます。「わたしたちは〇〇教会から、ここで〇〇によって表された、〇〇の賜物を感謝をこめて受け入れます」。

「霊的賜物のエキュメニカルな交換」を地域の状況に合わせて行うのは当然です。

執り成しの祈りは、国連の「8つのミレニアム開発目標」を取り入れています。全員が、祈りに刻まれたそれぞれの目標が分かるように、祈りをプリントすることを勧めます。

一致の約束の中の8つの応答句が、「八日間の聖書の黙想と祈り」のテーマに対応することを全員に知らせるのもよいでしょう。

「歌う人は二倍祈ります」。「2014年キリスト教一致祈禱週間」のために特別に呼びかけたカナダの賛美歌作家、作曲家の作品から、ふさわしいカナダの教会の祈りを紹介しました。これらの作品は、www.ecumenism.net/music/で見ることができます。エキュメニカルな礼拝を行うこの時期に、できる限り多くの作品を用いていただければと願っています。

礼 拝 式 文

I) 希望と一致のうちに集う

入堂の讚美歌

(司式者ならびに奉仕者が行列によって入堂する。)

開会

司式者：わたしたちの父なる神と主イエス・キリストから恵みと平安とが、あなたにたにあるように（一コリント1：3）。

司式者：この礼拝は、カナダにおいて準備されました。「カナダ」という言葉はカナダの先住民であるイア・ア・クワの人々の言葉で「村」を意味します。神の家の家族である世界中のキリスト者は、一つの「村」に住んでいます。礼拝を行うキリスト者は、この広大な地球村に自分を結び付けます。美しさと闘いと希望に満ちたこの村に。皆さん、よくおいでくださいました。主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりによって、共に集い、祈りをささげましょう。

全 員：アーメン。

司式者：慈しみ深い神よ。あなたはわたしたち皆を招いてくださいます。それぞれの家、職場、鉱山、工場、畑、店、船、家畜の群れ、学校、病院、刑務所、収容所から。わたしたちの主イエス・キリストとの交わりによって一つになるために。

全 員：わたしたちをキリストのうちに一つにしてください。

司式者：カナダの先住民は、古くからの儀式に従って、それぞれ異なる方角を向いて祈ります。彼らと共に、それぞれの方角を向きながら、心を合

わせて祈りましょう。

東を向いて

司式者：太陽が昇る東から、わたしたちは平和と光、知恵と知識とを受け取ります。

全 員：神よ、これらの賜物に感謝します。

南を向いて

司式者：南からは、温^{ぬく}もりと導き、命の始まりと終わりがもたらされます。

全 員：神よ、これらの賜物に感謝します。

西を向いて

司式者：西からは、雨がもたらされます。水は清め、命あるすべてのものを支えます。

全 員：神よ、これらの賜物に感謝します。

北を向いて

司式者：北からは、冷たく力強い風と純白の雪とがもたらされます。それらはわたしたちに力と忍耐を与えます。

全 員：神よ、これらの賜物に感謝します。

正面に向き直り、上を向いて

司式者：天からは、闇と光、あなたの命の息吹を受け取ります。

全 員：神よ、これらの賜物に感謝します。

下を向いて

司式者：わたしたちは大地から生まれ、大地へと帰っていきます。

全 員：神よ、創造の御業^{みわざ}と、地上の故郷のゆえにあなたに感謝します。

司式者：聖なる神よ。正しい道を歩ませてください。兄弟姉妹として地上で生きることができますように。他の人に与えられた恵みを喜び、その悲しみに寄り添うことができますように。あなたと、イエスのみ名によって、地の表を新たにする聖霊の息吹と共に。

全 員：アーメン。

讚美歌

悔い改めの祈り

司式者：コリントの共同体に向けたパウロの呼びかけに導かれて、わたしたちの罪を告白しましょう。

司式者：恵み深い神よ。あなたはキリスト・イエスと一つに結ばれたわたしたちを、言葉と知識において豊かにしてくださいました。しかし高慢なわたしたちは、これらの賜物が自分たちから来るものだとし、そのまことの源を認めようとしません。主よ、わたしたちをお赦してください。

全 員：主よ、憐れんでください（または：キリエ・エレイソン）。（歌ってもよい。）

司式者：恵み深い神よ。キリストと結ばれたわたしたちは、あらゆる霊的賜物で満たされています。しかし、臆病で利己的なわたしたちは、この命に満ちたメッセージを周りの人々と分かち合うことができずにいます。主よ、わたしたちをお赦してください。

全 員：主よ、憐れんでください。

司式者：恵み深い神よ。あなたはわたしたちを御子イエス・キリストとの交わりへと招いてくださいます。わたしたちは心をつにし思いをつにして熱心に一致しようとしませんでした。また進んで分裂をもたらし、争い、自己主張します。主よ、わたしたちをお赦してください。

全 員：主よ、憐れんでください。

司式者：恵み深い神よ。あなたは、わたしたちの弱さをご覧になりながら、なおわたしたちに忠実でいてくださいます。生なまぬる温く、自分たちの分裂を安易に受け入れるわたしたちをお赦してください。聖霊の恵みによってわたしたちの熱意を燃え立たせ、あなたと、他の人々と、全被造物との一致の契約を少しでも実現することができますように。

全 員：アーメン。

Ⅱ) 言葉の典礼

聖書朗読

イザヤ57：14-19、詩編36：5-10、一コリント1：1-17、マルコ9：33-41

説教

Ⅲ) 信仰と一致における応答

信仰告白

(ニカイア・コンスタンティノポリス信条、使徒信条、または他の信仰告白を用いる。)

信仰と約束の讚美歌

靈的賜物のエキュメニカルな交換

(礼拝を準備する人々は、事前に集まって、それぞれの教会に与えられているさまざまな賜物について考察する。それは、地域における賜物でも、伝統の賜物でもよい。各教会の代表者は、各教会の伝統がキリスト教共同体全体に与えられる賜物を表すものを持ち寄る。これらの賜物を奉納し、祭壇上に

置く。司式者は次のような定式を唱えて、賜物を紹介する。)

司式者：わたしたちは〇〇教会から、ここで〇〇によって表された、〇〇の賜物を感謝をこめて受け入れます。

全 員：神よ、これらの賜物に感謝します。

献金

主イエス・キリスト、あなたは使徒たちに言われました。「わたしは、平和をあなたがたに残し、わたしの平和を与える」。どうかわたしたちの罪ではなく教会の信仰を顧みてください。そして、わたしたちに、天の国における平和と一致をお与えください。その国で、あなたは父と聖霊と共に永遠に生きて治められます。アーメン。

執り成しの祈り

(カナダの諸教会は、国連の掲げる8つのミレニアム開発目標を取り上げた。以下の祈りはそれぞれ8つの目標を挙げたものである。)

司式者：貧困と飢餓の中で日々苦しんでいるすべての人のために祈ります。彼らの不安定な状態がしばしば分裂をもたらします。キリストの愛が正義と平和を回復していただきますように。恵み深い神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

全 員：あなたの愛によってこの祈りにこたえてください。

司式者：普遍的初等教育を求めるすべての人のために祈ります。彼らの知識への渇きが教会どうしの架け橋となり、そして、多様なわたしたちの間に尊敬を回復することができますように。恵み深い神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

全 員：あなたの愛によってこの祈りにこたえてください。

司式者：わたしたちは、男女の平等な尊厳と権利を求めるすべての人のために祈ります。すべての女性と男性において、神の像としての尊厳が認められますように。特に、仕事、生活必需品、そして社会的サービスが平等に与えられなければならないことを心に留めます。キリスト・イエスに結ばれて一つになるわたしたちが、男性また女性であることの賜物を十全に受け取ることができますように。恵み深い神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

全 員：あなたの愛によってこの祈りにこたえてください。

司式者：病気に苦しむ若者と、子供たちの健康増進を求める人々のために祈ります。子供たちの世話をするとき、イエス御自身を迎え入れることができますように。恵み深い神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

全 員：あなたの愛によってこの祈りにこたえてください。

司式者：わたしたちは子供を宿した女性と、妊産婦の健康のために祈ります。わたしたちが新しい命を宿した母親をいたわることができますように。母親の子供への愛は、わたしたちを一つに結び合わせる神の愛を思い起こさせます。恵み深い神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

全 員：あなたの愛によってこの祈りにこたえてください。

司式者：HIV / エイズ、マラリア、その他の病気と闘う人々のために祈ります。尊厳ある生活を認められない人々の声を聞くことができますように。すべての人が尊重されケアされ、だれも差別されることのない世界を築くために働かせてください。恵み深い神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

全 員：あなたの愛によってこの祈りにこたえてください。

司式者：被造物の不十分な管理のために苦しむすべての人と、すべての絶滅危惧種のために祈ります。わたしたちを「環境の持続可能性」へと導き、被造物と和解させてください。恵み深い神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

全員：あなたの愛によってこの祈りにこたえてください。

司式者：国際的連帯とグローバル・パートナーシップを実践する人々のために祈ります。フェアトレードに取り組み、貧困国の負債を帳消しにするわたしたちが、正義をも追求することができますように。恵み深い神よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

全員：あなたの愛によってこの祈りにこたえてください。

司式者：これらの目標の実現に努めるわたしたちが、御声を聞き分けることができますように。主よ、あなたが祈られた御国に向けて、わたしたちと共に歩んでください。それゆえ、わたしたちは祈ります。

主の祈り（唱えるか、歌う。）

平和の挨拶

司式者：16世紀から17世紀にかけて、フランス人がカナダにやって来たとき、彼らは資源豊かな土地を見だし、先住民に助けられました。彼らは感謝の気持ちから、ケベックシティの創立者たちを運んだ船を「ドン・ドゥ・デュー」すなわち「神の賜物」と名づけました。

カナダで用いられるユーカリストの多くの式文の中で、「神の民のための神の賜物」という言葉で陪餐（拝領）への招きが行われます。わたしたちが祈り求める一致は、教会の相互の交わりの回復であり、それはユーカリストの賜物を受け入れ合うことによって特徴づけられます。しかし、たとえこの目に見える一致への途上にあっても、わたし

たちは互いに賜物を交換し合います。それが神の民のための神の賜物です。

今日のフランス語を話すケベック州で、「ドン・ドゥ・デュー（神の賜物）」という言葉は、キリスト教会においても、一般文化においても、新鮮な力を失っていません。この言葉は、神の賜物に対する感謝の念を呼び起こすからです。この感謝の念は、彼らの先祖がカナダのファースト・ネーションと感謝を共有できた時代に由来します。平和の挨拶として、また互いに賜物を認め合う方法として、フランス系カナダ人と共に「ドン・ドゥ・デュー」と言って挨拶を交わしましょう。

（会衆は、抱擁、お辞儀、または握手をしながら、次の言葉を唱えて挨拶を交わす。）

全 員：ドン・ドゥ・デュー。

奉納の讚美歌（讚美歌を歌う間に献金をささげてもよい。）

IV) 派遣

一致の約束

司式者：パウロは、コリントの信徒に求めました。キリストは幾つにも分けられてしまっはなりません。そのことを心から認め、行動で表しなさいと。パウロはわたしたちにも求めます。既にキリストにおいて与えられた一致をより完全に実現しなさいと。

主イエス・キリストに祈り求める、あらゆる所のすべての人々と共に。

全 員：わたしたちは共に聖なる者となるよう招かれています。

司式者：わたしたちはどんな道でも神から恵みを受けています。

全 員：わたしたちは共に互いのために感謝します。

司式者：神は、わたしたちがキリストと一つに結ばれることを通して、豊かな祝福を与えてくださいました。

全 員：わたしたちは共にあらゆる霊的な賜物を豊かに与えられています。

司式者：愛と奉仕の業^{わざ}のためにわたしたちを強めてくださる神に信頼しつつ

全 員：わたしたちは共に神が忠実な方だと確信しています。

司式者：イエス・キリストの御手に抱かれて

全 員：わたしたちは共に交わりへと招かれています。

司式者：心を一つにし思いを一つにして

全 員：わたしたちは共に一致するように努めます。

司式者：わたしたちのために十字架につけられた方をめぐる口論を乗り越えて

全 員：わたしたちは共にキリストのものです。

司式者：キリストは幾つにも分けられてしまったのですか。

全 員：いいえ。わたしたちは共に世に出て、福音を宣^のべ伝えます。

派遣の讚美歌

祝福と派遣

(祝福は、以下の形式または他の形式を用い、複数の司式者によって行うことができる。)

司式者：主は皆さんと共に。

全 員：また、あなたと共に。

司式者：主イエスの愛が、皆さんを引き寄せてくださいますように。

主イエスの力が、主に仕える皆さんを強めてくださいますように。

主イエスの喜びが、皆さんの霊を満たしてくださいますように。

全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上に注がれ、永遠にとどま
りますように。

全 員：アーメン。

司式者：平安のうちにいきましょう。

主を愛し、主に愛され、

主を迎え入れ、主のものとなり、

主に仕え、主に養われるために。

全 員：神に感謝。

後奏

八日間の聖書の黙想と祈り

第1日 わたしたちは共に聖なる者となるよう招かれています

出エジプト記 19:3-8 あなたたちは、わたしにとって祭司の王国、聖なる国民となる。

詩編 95:1-7 わたしたちは主に養われる群れ、御手の内にある羊。

ペトロの手紙一 2:9-10 あなたがたは、かつては神の民ではなかったが、今は神の民である。

マタイによる福音書 12:46-50 だれでも、わたしの天の父の御心を行う人が、わたしの兄弟、姉妹、また母である。

黙想の要点

主の名を呼ぶわたしたちは共に、「イエス・キリストによって聖なる者」(一コリント1:2)となるよう招かれています。出エジプト記の中で、呼び集められた神の民は、わたしの宝、祭司の王国、聖なる国民と呼ばれます。

ペトロの手紙一は、わたしたちが聖なる交わりに加えられることは、神がわたしたちを選ばれた民、王の系統を引く祭司として呼び集めた結果だと考えます。このような招きに伴うのは、わたしたちを暗闇の中から驚くべき光の中へと招き入れてくださった方の力ある業を^{わざ}_の宣べ伝えよという命令です。

さらにわたしたちはマタイによる福音書のうちに次のことを見いだします。聖なる者の交わりであるわたしたちは、イエスとの一致を、自分の家族、種族、階級を超えて広げなければなりません。そのためにわたしたちは共に一致のために祈り、神の御心を行おうと努めます。

問い

- 皆さんや皆さんの教会の伝統の中で、「聖なる者の交わり」という言葉はどのような意味で用いられますか。
- わたしたちが「聖なる国民」となるよう招かれていることは、どのような形で、自分の地域のキリスト教を超え出るようにという促しとなりますか。

祈り

憐れみ深い神よ。わたしたちは分裂の最中にあっても、主の名を呼ぶすべての人々と共に、聖なる者となるようにというあなたの招きに耳を傾けます。あなたはわたしたちを、選ばれた民、王の系統を引く祭司、聖なる国民として造られました。聖霊の力によって、わたしたちを聖なる者の交わりへと引き寄せてください。そして、わたしたちを強めてください。御心を行い、わたしたちの主キリスト・イエスの力ある^{わざ}の業を宣べ伝えることができますように。アーメン。

第2日 わたしたちは共に互いのうちにある神の恵みのゆえに感謝します

申命記 26：1-11 主はわたしたちをエジプトから導き出しました。

詩編 100 神に感謝をささげ、御名をたたえよ。

フィリピの信徒への手紙 1：3-11 わたしは、あなたがたのことを思い
起こす度に、わたしの神に感謝して
います。

ヨハネによる福音書 1：1-18 恵みと真理はイエス・キリストを通して
現れた。

黙想の要点

申命記において、感謝するとは、神がわたしたちの間にも周りにもおられることを深く自覚しつつ生きる生き方です。感謝するとは、神の恵みが、互いのうちに、また至る所すべての人の中に生き生きと働いていることを認め、神に

感謝できることです。この恵みから溢れ出る喜びがあまりに大きいので、それは「あなたたちの中に住んでいる寄留者」と共に分かち合われます。

感謝するとは、エキュメニカルな文脈では、他のキリスト教共同体のうちに神の恵みの賜物があるのを喜べることです。この態度は、賜物をエキュメニカルな形で交換し、互いに学び合うよう、心の扉を開きます。

命はすべて神からの賜物です。創造の時から、神がイエスの生涯と活動において肉となった時まで、そしてわたしたちが生きている今この時に至るまで。イエス・キリストを通してわたしたちに与えられ、互いのうちに、また諸教会の中で現された恵みと真理の賜物を神に感謝しようではありませんか。

問い

- 他教派から受け取り、自分の共同体の中で体験している、神の恵みの賜物には、どのようなものがありますか。
- 伝統を異にするキリスト者が、神がおのおのに与えてくださったさまざまな恵みの賜物を、もっとよい形で受け取り、分かち合うには、どうすればよいでしょうか。

祈り

慈しみと恵みに満ちた神よ。自分の伝統の中で、また他の教派の伝統の中でわたしたちが体験している、あなたの恵みの賜物に感謝します。聖霊の恵みによって、わたしたちがこれからも感謝を忘れることがありませんように。そして、わたしたちが互いに出会い、新たな仕方であなたの一致の賜物を味わうことができますように。わたしたちの主イエス・キリストを通してこの祈りをおさげします。アーメン。

第3日 わたしたちは共にあらゆる霊的な賜物を豊かに与えられています

ヨブ記 28：20-28 主を畏れ敬うこと、それが知恵。

詩編 145：10-21 あなたはすべて命あるものに向かって御手を開き、望みを満足させてくださいます。

エフェソの信徒への手紙 4：7-13 わたしたち一人一人に、キリストの賜物のはかりに従って、恵みが与えられています。

マルコによる福音書 8：14-21 なぜ、パンを持っていないことで議論するのか。

黙想の要点

ヨブは次のことを悟ります。すべてが自分から取り去られても、主を畏れ敬うことは残ります。そして、それが知恵です。たとえ分裂によって貧しくなっても、キリストの兄弟姉妹であるわたしたちは、さまざまの豊かな賜物を恵まれています。それはこの霊的な賜物や物質的な賜物でキリストの体を築くためです。

わたしたちには、神の約束と、イエスの惜しみない命と愛が与えられています。にもかかわらず、わたしたちは、マルコによる福音書の弟子たちと同じように、時として、まことの富を忘れています。わたしたちは分割して、蓄えます。「パンを持っていない」かのように語り、行動します。

キリストは幾つにも分けられてはいません。わたしたちは共に十分な賜物を持っています。それは、この賜物を互いに、また「すべて命あるもの」と分かち合うためです。

問い

- わたしたちはどのようなときに、神の豊かな賜物を忘れ、自分たちは「パンを持っていない」と言うのでしょうか。
- 他の人と分かち合うために与えられた霊的な賜物と物質的な賜物を、どうすればもっと分かち合うことができるのでしょうか。

祈り

忠実で、御手を開いてくださる神よ。あなたをたたえます。あなたはキリストの賜物のはかりに従って、わたしたちに必要なすべての霊的賜物を与えてくださるからです。それは、知恵と、奉仕の賜物と、パンです。わたしたちがあなたの豊かな恵みのしるしとなれるよう助けてください。一つになって、終わりのない御国の賜物を、苦しみと貧困のうちにあるすべての地にもたらすことができますように。聖霊と共に、わたしたちのために裂かれた命のパンを与えてくださった方の御名によって祈ります。アーメン。

第4日 わたしたちは共に神が忠実な方だと確信しています

哀歌 3：19-26 主の慈しみは決して絶えない。

詩編 57：7-11 あなたのまことは大きく、雲を覆います。

ヘブライ人への手紙 10：19-25 約束してくださったのは真実な方なのです。

ルカによる福音書 1：67-75 主はその民を憐れんでくださる。

黙想の要点

父と子と聖霊の永遠の一致は、わたしたちを神の愛へと引き寄せます。そして、世において神の業わざにあずかるように招きます。神の業わざとは、愛と憐れみと正義です。神のうちであって、憐れみと正義は別のものではありません。むしろ二つは、神がわたしたちと全被造物との間で結んだ契約に示された、揺るぎない愛のうちに結び合わされています。

幼子の父となったザカリアは、神がアブラハムとその子孫への約束を忘れず、憐れみを現されたことを証します。神は聖なる契約を覚えていてくださいます。

教会の一致のために祈り続けるわたしたちは、互いに出会い、励まし合うことをおろそかにしてはなりません。互いを愛と善い業^{わざ}へと駆り立て、「神は真実な方」だということを証しなければなりません。

問い

- この数年間に、皆さんと皆さんの共同体の中で、神が真実な方だということが分かったことがありますか。
- 真実な神は、どのような仕方で、わたしたちがキリスト者の一致という目標をめざすよう促しますか。

祈り

真実な神よ。あなたの揺るぎない愛と、雲を覆うまことに感謝します。わたしたちは喜びと希望をもってあなたを待ち望みながら、あなたの教会の完全な目に見える一致のために共に働き、祈っています。わたしたちをあなたの約束を確信する心で満たしてください。聖霊の力により、わたしたちの主イエス・キリストを通して、とこしえに^{いつ}なる神にこの祈りをささげます。アーメン。

第5日 わたしたちは共に交わりへと招かれています

イザヤ書 43：1-7 わたしはあなたと共にいる。

詩編 133 見よ、兄弟が共に座っている。なんという恵み、なんという喜び。

ヨハネの手紙一 1：3-7 わたしたちは互いに交わりを持ちます。

ヨハネによる福音書 15：12-17 わたしはあなたがたを友と呼ぶ。

黙想の要点

わたしたちは、父である神と御子イエス・キリストと聖霊との交わりへと招かれています。三位一体の神に近づけば近づくほど、わたしたちはキリスト者の一致のうちに互いに近づきます。

キリストは、わたしたちを僕とは呼ばず、友と呼びます。こうして彼はわたしたちの関係をも転換し始めます。わたしたちは、この愛の関係にこたえて、権力関係や支配関係から離れ、互いに友となり、愛し合う関係へと招かれます。

イエスに招かれたわたしたちは、福音をまだ聞いたことのない人にも、既に聞いた人にも、福音を証しします。この福音の告知には、神との交わりへの招きも含まれています。それはまた、福音にこたえる人々の交わりを築きます。

問い

- どのようなときに神との交わりへの招きを体験しますか。
- 神は、皆さんの教会の中で、また皆さんの教会を超えた場で、どのような仕方で他の人々との交わりへと皆さんを招いていますか。

祈り

愛である父よ。あなたはわたしたちを御子との交わりへと招き入れてくださいました。そして、福音を証しして豊かな実りを結ぶように、わたしたちを遣わしてくださいました。聖霊の恵みによって、わたしたちが互いに愛し合い、一致のうちにとどまれるようにしてください。わたしたちの喜びが満たされますように。アーメン。

第6日 わたしたちは共に一致するように努めます

士師記 4：1-9 あなたが共に来てくださるなら、行きます。

詩編 34：1-14 平和を尋ね求め、追い求めよ。

コリントの信徒への手紙一 1：10-15 心を一つにし思いを一つにして、

固く結び合いなさい。

ルカによる福音書 22：24-30 使徒たちの間に、議論も起こった。

黙想の要点

コリントの信徒への手紙一1章12-13節で述べられた分裂は、人々が福音をゆがめ、キリストのメッセージの完全性を傷つけたことに由来します。クロエの家の人たちがしたのと同じように、争いと分裂を認めることが、一致を築くための第一歩です。

デボラとクロエのような女性は、争いと分裂の時代を生きた神の民の中で預言者の声を上げます。そして、わたしたちに和解の必要性を突き付けます。このような預言者の声は、人々が行動のためにあらためて一致することを可能にします。

心を一つにし思いを一つにして、一致をめざして努力するわたしたちは、詩編作者が述べるとおり、主とその平和を尋ね求めるよう招かれます。

問い

- 悲しむべき教会の不一致を預言的に指摘することが、新たな一致の追求のきっかけとなったことがありますか。
- エキュメニカルな体であるわたしたちの間に今なお分裂をもたらしている問題はどのようなものですか。一致のために歩むべき道はどのようなものだと思いますか。

祈り

慈しみ深い神よ。あなたは争いと分裂の時代に預言者の証人と与えてくださいました。主よ。あなたを追い求めるわたしたちに聖霊を遣わしてください。わたしたちが心を一つにし思いを一つにして、和解を築く者となれますように。わたしたちの主イエス・キリストによって祈ります。アーメン。

第7日 わたしたちは共にキリストのものです

イザヤ書 19：19-25 主は彼らのために救助者を送る。

詩編 139：1-12 どこに行けば、あなたの霊から離れることができよう。

コリントの信徒への手紙一 12：12-26 一つの部分が苦しめば、……一つの部分が尊ばれば、……。

マルコによる福音書 9：38-41 わたしたちに逆らわない者は、わたしたちの味方なのである。

黙想の要点

イザヤは、エジプト人とアッシリア人が、神の民としてイスラエルと共に礼拝する日を思い描きます。キリスト者の一致は、全人類の一致ばかりか、全宇宙の一致をめざす神の計画の一部です。わたしたちは、いつの日か、一つの信仰と一つのユウカリストの交わりによって、共に礼拝を行えることを祈ります。

わたしたちはさまざまな教会の伝統の賜物に恵まれています。互いのうちにあるこれらの賜物を認めることにより、わたしたちは目に見える一致をめざすよう駆り立てられます。

わたしたちの洗礼は、キリストにおける一つの体としてわたしたちを結び合わせます。わたしたちは個々の教会の価値を認めます。しかしパウロは次のことを思い起こさせてくれます。主の名を呼ぶ人は皆、キリストのうちにあつてわたしたちと共にいます。わたしたちは皆、一つの体の部分だからです。わたしたちが「お前は要らない」（一コリント12：21）と言えるような、他の人はいません。

問い

■「キリストのものである」ことを示すしは何でしょうか。

■「キリストのものである」という言葉を使うことで、キリスト者が一致する代わりに、分裂するのは、どのような場合ですか。

祈り

神よ、あなたに感謝します。あなたは聖霊の賜物によって、キリストの体のすべての部分を祝福してくださったからです。わたしたちを助けてください。わたしたちが互いに支え合い、違いを尊重し、イエスを主と呼ぶ世界のすべての人の一致のために働くことができますように。アーメン。

第8日 わたしたちは共に福音を宣べ伝えます

イザヤ書 61：1-4 主なる神の霊がわたしをとらえた。わたしを遣わして
良い知らせを伝えさせるために。

詩編 145：1-7 人々が、代々に御業をほめたたえますように。

コリントの信徒への手紙一 15：1-8 わたしがあなたがたに伝えたのは、
わたしも受けたものです。

ルカによる福音書 4：14-21 この聖書の言葉は、今日、あなたがたが耳
にしたとき、実現した。

黙想の要点

イザヤが預言し、わたしたちの主イエスが実現し、使徒パウロが宣教し、教会が受け入れた福音——この福音を、わたしたちはあらためて共に宣べ伝えます。わたしたちは、自分たちの違いと、互いに他の教派に対して抱いている偏見に誠実に向き合いつつも、イエス・キリストの福音を宣べ伝えなさいという共通の命令を決して見失ってはなりません。

パウロが遣わされたのは、「福音を告げ知らせるためであり、しかも、キリストの十字架がむなしなものになってしまわぬように、言葉の知恵によらないで告げ知らせるため」（一コリント1：17）です。一致への道を、十字架の力の

うちに見いださなければなりません。

わたしたちが^の宣べ伝える福音は、個人とキリスト教共同体の生活の中でイエス・キリストの^{わざ}業を証しすればするほど、具体的かつ現実的なものとなります。

問い

- 皆さんの受けた「福音」は、どのような仕方で、その文化的・歴史的な伝達形式と結び付いていますか。
- そのことは一致の妨げとなっていますか。
- わたしたちは、どのようにすれば、キリストにおける一致の深まりによって、受けた福音をいっそう証しできるようになるのでしょうか。

祈り

恵み深い神よ。あなたは人々を^{あなたが}贖うために、霊の力によって御子イエス・キリストを遣わされました。わたしたちを多様性のうちに一致させてください。福音を必要としている世に、キリストの生涯と死と復活についての福音を共に告白し、^の宣べ伝えることができますように。アーメン。

カナダの教会の祈り

『2014年キリスト教一致祈禱週間』のための補足資料は、ウェブサイト「カナダにおけるエキュメニズム」で見つけることができます。アドレスは<http://ecumenism.net/music/>です。

このウェブサイトに掲載された作品は、『2014年キリスト教一致祈禱週間』のテーマ（「キリストは幾つにも分けられてしまったのですか」一コリント1：1-17）あるいは、キリスト教一致祈禱週間のテーマ一般にちなんだ曲を集めるためにカナダの作曲家に呼びかけた結果、集められたものです。

楽曲の一部または全部を自由にダウンロードして、皆様の一致祈禱週間のためにお使いいただければ幸いです。

カナダにおけるエキュメニズムの状況⁽²⁾

カナダの宗教状況に影響している多くの要素の一つは、国土の広大さです。カナダは世界で二番目に大きな国です。国土の40%は北緯60度より北の北極圏です。大西洋から太平洋へ、アメリカ合衆国との国境から北極へと広がるカナダは、10の州と3の準州を持ちます。カナダは大西洋、太平洋、北極海の3つの海に面しています。唯一の国境であるアメリカ合衆国との間の国境では、約200年間平和を維持してきました。カナダはイギリス連邦加盟国で、政治は10州、3準州から成る連邦制です。旧植民地諸州の統一と英国からの独立を平和的に行ったカナダは、国際外交と国際協力を推進し続けています。都市が互いに離れていることは、各地域の自治を進め、それぞれの独自の特徴を形成すると共に、時として疎外感と怨恨感情も生み出しました。

カナダは自然の美しさで知られます。山々、森林、湖に河川、広大な麦畑、

(2) このテキストは、「2014年キリスト教一致祈禱週間」原案の作成のために結成された、カナダのエキュメニカル・グループの文責において掲載される。

三つの海による海岸線などです。農業と天然資源にも恵まれています。カナダはまた、多様な人々の住む土地です。ファースト・ネーション、イヌイット、メティス⁽³⁾、そして世界中から、ここに居住地を求めてやって来た多くの人々がいます。公用語はフランス語と英語の二つですが、多くのカナダ人は自分たちの先祖の故国から伝わる文化や言語の遺産を大事にしています。

セントローレンス川を遡った初期のフランス人探検家のジャック・カルティエ（1491-1557年）は、先住民が「カナダ」（「村」の意味）という言葉を用いるのを聞いた最初のヨーロッパ人です。フランスから来た最初の入植者は主にローマ・カトリック教会の人々でしたが、プロテスタント教会の人々も数多くいました。主にユグノー派の商人です。ヌヴェル・フランスでは、フランスに存在した宗派間の対立は意識されませんでした。イエズス会員は進んでプロテスタント教会の人々と協力したからです。しかし、残念ながら、初期の協力関係は差別に変わり、やがてカトリック教会の人々だけがヌヴェル・フランスの入植者として公認されました。モンリオールの元の名称である「ヴィル・マリー（マリアの町）」はこうしたカトリック的な起源を示しています。

18世紀半ば、ヌヴェル・フランスは大英帝国に割譲され、大部分のカトリックのフランス系カナダ人家族は英国聖公会の王によって統治されることになりました。イギリスではカトリック信者を差別する法律がまだ残っていた時代に、カナダでは政府により、信教の自由と、言語・教育・文化の自由が認められました。とはいえ、寛容な時期と困難な時代の交替が続きました。1950年代まで、カナダのカトリック教会の司教はフランス系コミュニティの団体を監督していました。ところで、カナダは成長するにつれて、多数の移民を受け入れました。イギリス、スコットランド、アイルランドからの入植者が18世紀末に到来し始めました。19世紀の西欧と東欧からの多数の移民に、最近ではラテンアメリカ、アフリカ、中東、アジアの多数の人々が加わりました。20世紀、世界のあらゆる

(3) ファースト・ネーションというのは、ヨーロッパ人の渡来以前に先住民が存在したことを認めるためにカナダで使われる言葉です。北極圏にいる先住民は自らのことをイヌイットと呼びます。メティスという言葉は、先住民とフランス人との両方を先祖とする人々を指す言葉です。

る地域から移民と難民がカナダにやって来るようになりました。この中には東欧と中東の東方正教会の信者も多数含まれます。彼らのキリスト教的伝統はカナダの宗教を豊かにしました。今日、カナダのキリスト教徒は、数百の言語と方言で礼拝し、それぞれの特徴ある文化的要素を保持しながら、カナダの文化と宗教を色とりどりのものにしていきます。他宗教の信者もカナダに居住するようになりました。ユダヤ教徒、ムスリム、シーク教徒、ヒンドゥー教徒、バハイ教徒です。カナダの都市は世界で最も多文化的・多宗教的な都市です。同化を推進した初期の国家政策は、1970年代以降、公的な多文化主義に取って代わられました。カナダは多様な民族の出身の市民の貢献によって豊かにされてきました。わたしたちカナダ人は、これらの市民が政治、教育、保健、芸術、メディア、経済、宗教の分野で目に見える形で存在することを評価しているのです。

約150年以上、カナダの幾つかのキリスト教教派は連邦政府と協力して、インディアン寄宿学校を運営しました。これらの学校はしばしば両親の意思に反して先住民の子供を入学させて教育し、ヨーロッパ文化に同化させるものでした。先住民の言語と文化の抹殺をめざす、こうしたインディアン寄宿学校では、しばしば身体的・感情的・性的虐待も行われました。カナダの主要教団——ローマ・カトリック教会、合同教会、聖公会、長老教会——がこのことにかかりました。そこで彼らは最近になってさまざまな方法で謝罪しています。これらの教団は今や、先住民と緊密に協力しながら、正義といやしと真理と和解を追求しています。この作業は最近、真実和解委員会⁽⁴⁾を通じて行われています。同委員会は過去のインディアン寄宿学校に対する包括的な対応の一部をなすものです。

カナダの諸教会は、初期の時代から、司牧協力をめざす傾向を深めてきました。既に1880年代に、カナダ西部における長老教会、メソジスト教会、会衆派教会の宣教事業は、宣教事業の分担のために協力していました。それは教会合

(4) インディアン寄宿学校とインディアン居留地条約については<http://trc.ca>参照。

同を促しました。それが1925年のカナダ合同教会の設立の誘因の一つです。カナダ合同教会は近代における世界初のエキュメニカルな合同教会です。この合同の推進者は、教会合同が、国家建設計画においてキリスト教が指導的役割を演じるための方法だと考えました。今日、職制における協力はさまざまな形をとっています。スピリチュアル・ケア・ミニストリーは、刑務所、病院、大学、軍隊においてエキュメニカルなチャプレンによって共同で行われています。全カナダ共通の正式な神学教育は、エキュメニカル神学校ないしコンソーシアムで行われています。他の協力の形は、会衆ミニストリーです。たとえばエキュメニカル・シェアード・ミニストリーでは、二つないし三つの教派が施設、聖職者、ないしプログラムを共有し、毎週、共通の礼拝を開催しています。

24教派がカナダ教会協議会 (CCC) に加盟しています。カナダ教会協議会は、世界最大の包括的教会協議会の一つです。加盟教会は、聖公会、カトリック教会、改革派教会、福音教会、自由教会、東方正教会を含みます。決定においてコンセンサス方式を採用するカナダ教会協議会は、1944年に創立されました。現在の加盟教会はカナダのキリスト教徒の85%を代表しています。カナダ・カトリック司教協議会が、福音教会と共にカナダ教会協議会の正式会員であることは特筆すべきです。カナダ福音連盟 (EFC) の加盟者は、教団、超教派的ミニストリー、福音教会とペンテコステ派教会の地域教会です。多くの教会はカナダ教会協議会とカナダ福音連盟の両方の加盟者ないしオブザーバーです。二つの組織は近年いっそう緊密に協力するようになっています。

多くのカナダの教会は、国レベルでも地域レベルでも、二教派間また多教派間の関係を持っています。最も重要な合同は、多くの長老教会、メソジスト教会、会衆派教会による1925年の合同教会の設立です。しかし、他の一致と交わりの形態も見られるようになりました。たとえば、2001年の聖公会ルーテル教会のフル・コミュニオンに関する『ウォータールー宣言』です。カナダにおける神学対話は地域レベルの研究と考察に貢献すると共に、国際レベルの対話に対してもその洞察を提供してきました。

カナダにおけるエキュメニズムの持つ多くの革新的な側面の一つは、1960年代に始まる、社会正義のための50以上の教団連合体の形成です。プロジェクト・プラウシェアズ、カナダ・インターチャーチ女性協議会、KAIROS：カナダ・エキュメニカル・ジャスティス・イニシャティブズ、カナディアン・チャーチス・フォーラム・オン・グローバル・ミニストリーズなどは、複雑な社会問題の研究と対応において諸教会と政府を支援しています。

カナダ・エキュメニズム・センターは1963年、英語圏とフランス語圏の交錯するモントリオールに、イレネー・ポービアン神父（1916年－）によって設立されました。同センターは『エキュメニズム』誌などの刊行物を出版しています。『エキュメニズム』誌は英語版とフランス語版で刊行され、40か国の購読者に送付されます。同センターの社会運動への変わることのない関心は、新たなグリーン・チャーチ・プログラムに示されます。このプログラムは、あらゆる教派が被造物のよき管理者となるための援助を提供するものです。

1960年代前半の第二バチカン公会議の呼びかけは、カナダにおけるエキュメニズムの成長に積極的な影響を与えました。カナダにおけるエキュメニカルな洞察と経験は、モントリオール大司教のポール＝エミール・レジェ枢機卿（1904－91年）の司牧書簡『分裂したキリスト者』（*Chrétiens désunis*）に示されています。レジェ枢機卿は、プロテスタントの人々がカトリックに変わることを求めず、むしろカトリック信者に対して、特にカトリック教会の再生と回心による一致のために祈るよう招きます。枢機卿は言います。「一致への関心は、現代のキリスト教においてますます増大しています」。この重要な動きは「聖霊の促しによって生まれたものです」。キリスト者の一致と不一致という神秘に関するこの考察の中で、枢機卿は強調して言います。有効な洗礼を受けた者は皆、「キリストに接ぎ木され、キリストと共に一つの体となります」。枢機卿はさらに次のことを指摘します。キリストの明確な御心から見て、不一致は「つまずき」であり、「悪」です。そのため枢機卿は自分の群れに対して、分裂の責任は両方の側にあることを認めながら、一致のために祈り、キリスト者の兄

弟と対話するよう促したのです。

ポービアン神父の呼びかけで1958年からプロテスタントの司牧者とカトリック司祭の間で毎月モンリオールで会合が開かれていることを知った世界教会協議会は、1963年に第4回信仰職制世界会議を同地で開催することを決定しました。多くのカトリック信者からの歓迎を受けながら、さまざまな教派・国から来た450人以上の神学者が集まったこの会議は、エキュメニズムにとって重要な出来事となりました。会議開催中にモンリオール大学で開かれたキリスト者の共同の夕の祈りには1500人以上のキリスト者が集まりました。1967年のモンリオール万国博覧会では、カナダの諸教会とバチカンが別々に展示を行うのではなく、一つの共通の「キリスト教パピリオン」を設置しました。万博の歴史の中で、エキュメニカルなパピリオンが建てられたのはこれが最初です。

第二バチカン公会議後の数十年の間に、これ以外のエキュメニカルなグループも生まれました。特に重要なのは、大西洋エキュメニカル協議会（1966年）、ケベック・エキュメニカル・ネットワーク（1982年）、プレーリー・エキュメニズム・センター（1984年）です。ベルナルド・ド・マージェリー神父によってサスカトゥーンに設立されたプレーリー・エキュメニズム・センターは、7教派の支援を受けており、エキュメニズム教育と、エキュメニカル・シェアード・ミニストリーのための資源提供を行っています。カナダ全体で、地域ごとのエキュメニズムは、地域や近隣の共同体の奉仕者のグループと、多くの教会協議会によって推進されています。カナダ全土で幾つかのエキュメニカルな行事が盛んに行われています。キリスト教一致祈祷週間の共同の開催、神学部での共同の養成、正義と平和のための活動、出版などです。カナダの教会生活の不可欠の部分をなす、教派間のつながりは、キリスト者の一致をめざす活動の困難と祝福を体験しつつ、多くの場合に、エキュメニカルな奉仕職を指導しています。

最近のエキュメニズムの重大な出来事は、福音教会とその司牧者が、エキュ

メニカルな集会、礼拝、対話、そして共同体の奉仕にますます参加するようになったことです。福音教会どうしでかかわり合う時期に続いて、主流派のプロテスタント教会、福音教会とペンテコステ派教会、東方正教会、ローマ・カトリック教会の間で新たな対話を行う機会が生まれています。カナダにおける福音教会は、他の地域教会に手を差し伸べ、対話と、共同の礼拝の機会と、現代への証しのための協力を模索しているのです。諸教会は、かつてのように社会的な影響力を持てなくなり、多くの伝統的な教派の会員が著しく減少しているという現実には直面しています。

キリスト教共同体内での、他宗教の信者に福音を宣^のべ伝えることの優先度ないし必要性の相違が、協力の妨げとなり続けてきました。とはいえ、諸宗教対話におけるキリスト者の協力関係は近年深まり、諸教派間の協力が頻繁になされています。

キリストは幾つにも分けられてしまったのですか。カナダにおけるキリスト者の間に分裂が存在するのは確かです。キリスト教共同体は、教会と社会における女性の役割、人工妊娠中絶、安楽死、同性婚といった倫理的問題をめぐる分裂しています。こうした分裂の多くは、教派を横断して見られます。しかし、一部の宗教団体は、新たな社会問題に直面して、新たな積極的な仕方で隣人とかかわり始めています。カナダの歴史の中に、対立と抗争、互いに対する無知と無関心の時期があったのは確かです。そこからわたしたちは、共に平和に生きるために、他者の価値を大切にすることを学びました。わたしたちは依然として、教えと方針と実践によって分裂し、教派としての独立を主張し続けています。にもかかわらずわたしたちは、神の導きの下で、一致をめざす歩みを続けます。

1967年のカナダ独立百周年祭の祈りに示された思いは、現代のカナダの特徴をも示しています。

「世界のすべての国の民が思いと言葉と行いにおいて一致するように祈り、生きようではありませんか。今日もこれからも、世界のすべての他の人々と、誠実に、清く、愛をもってかかわることができますように、わたしたちを助けてください。この国とすべての国の人の心が皆、一致し、満たされるよう祈ります。飢餓と貧困と無知と病気がなくなり、御国が真に到来するために、働き、生きることができますように、わたしたちを助けてください。アーメン」。

◇キリスト教一致祈禱週間に関する歴史上の重要な年◇

1740年頃 スコットランド	スコットランドで起こり、北アメリカ大陸まで及んでいった聖霊による働きに目覚めた人々がいた。それは諸教会を包む信仰覚醒運動の祈りであった。(メソジスト運動)
1820年 ジェームス・H・ スチュアート	ジェームス・H・スチュアート神父の著作が出版された。 "Hints for the General Union of Christians for the Outpouring of the Spirit"
1840年 イグナティウス・ スペンサー	ローマ・カトリックへ改宗した、イグナティウス・スペンサー神父は、「一致のための合同の祈り (Union of Prayer for Unity)」を提唱した。
1867年 ランベス会議	聖公会の主教たちによる第1回ランベス会議が行われ、一致祈禱についての転換の前兆となった。(1920年のランベス会議決議では、「教会の再一致の訴え」を協議した。)
1894年 教皇レオ13世	ローマ教皇レオ13世は、聖霊降臨に関連して、一致のために八日間の祈りの実施を奨励した。
1908年 ポール・ワトソン	「教会一致のための八日間の祈り」が、ポール・ワトソン神父によって初めて行われた。
1926年 信仰と職制運動	信仰と職制運動は「キリスト教一致のための八日間の祈りの提案」を広める活動を開始した。
1935年 ポール・ クトゥリアル	フランスのポール・クトゥリアルは「主の意志によってキリスト教が一致しようとする」祈りを基に包括した「普遍的なキリスト教一致祈禱週間」を提唱した。
1958年 "Unité Chrétienne"	"Unité Chrétienne" (フランス、リヨン市)とWCC (世界教会協議会)の信仰職制委員会は、祈禱週間のために資料を協同で準備し始めることとなった。
1964年 エルサレム	教皇パウロ6世と総主教アテナゴラス1世が、共にイエスの祈り「すべての人を一つにしてください」(ヨハネ17章)を唱える。
1964年 第二バチカン 公会議	第二バチカン公会議の「エキュメニズム教令」ではエキュメニカルな運動の精神とキリスト教一致祈禱週間の遵守を促進することを強調した。
1966年 信仰職制委員会、 一致推進秘書局	WCC (世界教会協議会)の信仰職制委員会とキリスト教一致推進秘書局(現教皇庁キリスト教一致推進評議会)は、祈禱週間テキストについて公式な協同の準備を開始した。
1968年 第1回教会一致 祈禱週間	第1回「キリスト教一致祈禱週間」は、「信仰職制」のテキストに基づいて行われ、それはキリスト教一致推進秘書局と協同で準備された。
1975年 地方教会による一 致祈禱週間冊子	地方教会のエキュメニカル・グループが作成した草案に基づくキリスト教一致祈禱週間の冊子を初めて使用。この年の草案を作成したのはオーストラリアのグループ。
1988年 マレーシア・キ リスト教連盟	マレーシア国内の主要キリスト教教派の連合のマレーシア・キリスト教連盟が大会開会礼拝でキリスト教一致祈禱週間冊子を使用。

1994年 YMCAとYWCA	YMCAとYWCAが協力して1996年キリスト教一致祈祷週間テキストを作成。
2004年 キリスト教一致 祈祷週間冊子	以後、キリスト教一致祈祷週間の冊子を、信仰職制委員会（WCC）と教皇庁キリスト教一致推進評議会（カトリック）が同一の体裁で協同制作・出版することが合意された。
2008年 100周年	キリスト教一致祈祷週間開始100周年（教会一致のための八日間の祈りが1908年に初めて行われた）。

◇キリスト教一致祈祷週間のテーマ一覧（1968-2014年）◇

- 1968 神の栄光をほめたたえるに至るために（エフェソ 1・4）
1969 自由への召し（ガラテヤ 5・13）
1970 わたしたちは神の同労者である（Iコリント 3・9）
1971 聖霊の交わり（IIコリント 13・13）
1972 わたしは新しいおきてをあなたがたに与える（ヨハネ 13・34）
1973 主よ、祈ることを教えてください（ルカ 11・1）
1974 すべての舌が「イエス・キリストは主である」と告白するように（フィリピ 2・1-13）
1975 すべてはキリストのもとに（エフェソ 1・3-10）
1976 わたしたちはまことの姿になるように召されている（Iヨハネ 3・2）
1977 とともに希望をもって屈せず（ローマ 5・1-5）
1978 もはや他人ではない（エフェソ 2・13-22）
1979 み栄えのため互いに仕えよう（Iペトロ 4・7-11）
1980 み国が来ますように（マタイ 6・10）
1981 一つの霊 多くの賜物 一つの体（Iコリント 12・3b-13）
1982 主こそわがやどり（詩編 84）
1983 イエス・キリスト - この世の生命（Iヨハネ 1・1-4）
1984 主の十字架は一致への道（Iコリント 2・2、コロサイ 1・20）
1985 キリストとともに死から生命へ（エフェソ 2・4-7）
1986 我が証人となれ（使徒 1・6-8）
1987 キリストにあってともに新しく（IIコリント 5・17-6・4a）
1988 愛は恐れをとりぞく（Iヨハネ 4・7-21）
1989 キリストに結ばれて一つのからだに（ローマ 12・1-21）
1990 キリストの祈りのうちに（ヨハネ 17）
1991 すべての国よ、主を賛美せよ（詩編 117、ローマ 15・5-13）
1992 わたしはあなたがたとともにいる。だから行きなさい（マタイ 28・16-20）
1993 聖霊の実はキリスト者の一致を生む（ガラテヤ 5・22-23）
1994 神の家族・心も思いも一つにして（使徒 4・23-37）
1995 コイノニア・神にある交わり、お互いの間の交わり（ヨハネ 15・1-17）
1996 見よ、わたしは戸口に立って、たたいている（黙示 3・14-22）
1997 神と和解させていただきなさい（IIコリント 5・16-21）
1998 “霊”は弱いわたしたちを助けてくださる（ローマ 8・14-27）

- 1999 神が人と共に住み、その神となり、人は神の民となる（黙示21・3）
- 2000 神はほめたたえられますように。神はわたしたちをキリストにおいて祝福で満たしてくださった（エフェソ 1・3-14）
- 2001 わたしは道、真理、いのち（ヨハネ 14・6）
- 2002 神よ、命の泉はあなたにある（詩編 36・6-10）
- 2003 わたしたちは、このような宝を土の器に納めています（Ⅱコリント 4・7）
- 2004 わたしの平和を与える（ヨハネ 14・27）
- 2005 教会の土台であるキリスト（Ⅰコリント 3・1-23）
- 2006 二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる（マタイ 18・18-20）
- 2007 耳の聞こえない人を聞こえるようにし、口の利けない人を話せるようにして下さる（マルコ 7・31-37）
- 2008 絶えず祈りなさい（Ⅰテサロニケ 5・(12a) 13b-18）
- 2009 それらはあなたの手の中で一つとなる（エゼキエル 37・15-28）
- 2010 あなたがたはこれらのことの証人となる（ルカ 24・48）
- 2011 使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに一つ（使徒 2・42参照）
- 2012 わたしたちは皆、主イエス・キリストの勝利によって変えられます（Ⅰコリント 15・51-58参照）
- 2013 神が何をわたしたちに求めておられるか（ミカ 6・6-8参照）
- 2014 キリストは幾つにも分けられてしまったのですか（Ⅰコリント 1・1-17）

<お願い>

この種の出版や今後の共働を推進するために、全国のキリスト者の皆様のご理解とご支援を心から期待しております。合同祈祷会の献金の一部、あるいは有志の献金を多少なりともお送りくだされば、事務局の活動の大きな励ましと支えになります。ご協力をお願い申し上げます。

日本キリスト教協議会

169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-24

TEL 03-3203-0372 Fax 03-3204-9495

郵便振替 00180-4-75788 『日本キリスト教協議会』

カトリック中央協議会

135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館内

TEL 03-5632-4445 Fax 03-5632-4465

郵便振替 00120-7-410103 『(宗)カトリック中央協議会委員会口』

(通信欄に「キリスト教一致祈祷週間」と明記してください)

2013年一致祈祷週間の献金者 (順不同敬称略)

〈カトリック中央協議会扱い〉

愛徳カルメル修道会
 青森市キリスト教協議会
 アシジの聖フランシスコ宣教修
 道女会
 アトメントのフランシスコ会
 アトメントのフランシスコ女子
 修道会
 イエスのカリス修道女会
 援助修道会
 大阪キリスト教一致祈祷会
 岡崎朝教会、岡崎月例朝教会、
 日本CIRC
 幼き聖マリア修道会
 シー会 那須の聖母修道院
 お告げのフランシスコ姉妹会
 聖血礼拝修道会
 カトリック市川教会
 カトリック伊東教会
 カトリック上田教会
 カトリック宇部教会
 カトリック金沢教会
 カトリック榊井沢教会
 カトリック川越教会
 カトリック北26条教会
 カトリック北広島教会
 カトリック聖イグナチオ教会
 カトリック山台司教区
 カトリック高千帆教会
 カトリック高鍋教会
 カトリック伊達教会
 カトリック東京大司教区
 カトリック南山教会
 カトリック織町教会
 カトリック光教会
 カトリック益田教会
 カトリック三原教会
 カトリック三次教会
 カトリック盛岡上堂教会
 カトリック横浜司教区
 カトリック与那原教会
 カルメル修道会 幼きイエズス
 修道院
 カルメル修道会 カルメル山の
 聖母修道院
 カルメル修道会 三位一体修
 道院
 カルメル修道会 聖ヨゼフ修
 道院
 汚れなきマリアのクラレチアン
 宣教修道女会
 坂出・丸亀地区キリスト教一致
 委員会
 サレジオン・シスターズ
 サレジオン・シスターズ 大分
 修道院
 サレジオン・シスターズ 修学
 院

サレジオン・シスターズ 守護
 の天使修道院
 サレジオン・シスターズ 聖ヨゼ
 フ修道院
 サレジオン・シスターズ 世田
 谷修道院
 サレジオン・シスターズ 玉造
 修道院
 サレジオン・シスターズ 湯布
 院修道院
 三位一体の聖体宣教女会
 師イエズス修道女会
 十字架のイエズス・ベネディクト修
 道会
 殉教者聖ゲオルギオのフランシ
 スコ修道会
 ショファイユの幼きイエズス修
 道会
 ショファイユの幼きイエズス修
 道会 長崎信愛修道院
 スピノラ修道女会 東京修道
 院
 聖クララ会(桐生)
 聖クララ会(新潟)
 西湘地区キリスト教連合 教
 役者会
 聖心侍女修道会 五反田第
 一修道院
 聖体奉仕会
 聖ドミニコ宣教修道女会 聖
 マルチン修道院
 聖ドミニコ宣教修道女会 北
 条修道院
 聖パウロ女子修道会
 聖フランシスコ病院修道女会
 東京修道院
 聖ベネディクト女子修道院
 聖母奉獻修道会
 聖マリア修道女会
 聖ヨゼフ修道会 白梅町修道
 院
 聖靈奉持布教修道女会 金
 沢聖霊修道院
 聖靈奉持布教修道女会 豊
 田聖霊修道院
 聖靈奉持布教修道女会 本
 部八事聖霊修道院
 高松市キリスト教一致祈祷集
 会
 天使の聖母トラピスチヌ修道
 院
 ドミニコ会 雪の聖母修道院
 長崎純心聖母会
 長崎純心聖母会 鹿児島修
 道院

長崎純心聖母会 三ツ山修
 道院
 奈良南部朝教会 仲川久代
 新潟キリスト教連合会
 福音史家聖ヨハネ布教修道会
 藤沢市内キリスト教連絡会
 ベタニア修道女会
 ベトレヘム外国宣教会
 マリアの宣教者フランシスコ修
 道会
 マリアの宣教者フランシスコ修
 道会 亀田修道院
 マリアの宣教者フランシスコ修
 道会 北広島修道院
 マリアの宣教者フランシスコ修
 道会 熊本第二修道院
 マリアの宣教者フランシスコ修
 道会 神戸修道院
 マリアの宣教者フランシスコ修
 道会 札幌修道院
 マリアの宣教者フランシスコ修
 道会 東京第二修道院
 マリアの宣教者フランシスコ修
 道会 戸塚修道院
 マリアの宣教者フランシスコ修
 道会 人吉修道院
 聖心の布教姉妹会
 無原罪聖母宣教会
 茂原バプテド教会 塩山宗
 満
 善き牧者の愛徳聖母修道会
 レデンプトルン宣教修道女会
 レデンプトルン修道会 鎌
 倉修道院
 レデンプトルン修道会 長
 崎修道院
 小林讓
 鈴木崇代
 竹内久枝
 野下千年
 細井めぐみ
 本木美枝子

〈日本キリスト教協議会扱い〉

三輪俊彦
 外山 誠
 植松 功
 青森市キリスト教協議会
 茂原地区「キリスト教一致祈祷週
 間祈りの集い」
 日本基督教団北上教会
 坂出・丸亀地区キリスト教一致委
 員会
 高松市キリスト教一致祈祷集会
 西武地区教会連合会
 松山幸生
 カトリック渋谷教会
 広島キリスト教一致祈祷会
 松山地区教会一致祈祷会
 徳島県キリスト教一致祈祷会
 熊本朝教会
 日本基督教団諫早教会
 山梨県教会一致懇談会
 日本ルーネス教団由木教会・日本
 基督教団永山教会・カトリック
 高幡教会 合同一致祈祷会
 鹿児島市内キリスト教一致祈祷会
 世田谷地区キリスト教一致祈祷会
 三条市一致祈祷会
 福岡一致祈祷会
 秦野市キリスト教協議会
 盛岡NCC

(2012年9月1日～2013年8月31日)

「2014年キリスト教一致祈祷週間」

日本キリスト教協議会・カトリック中央協議会 共同発行